

## 公立図書館の図書館協議会における諸問題

——近年の図書館協議会調査を通して——

山 口 洋

### 目 次

#### はじめに

1. 近年の図書館協議会調査
2. 図書館友の会全国連絡会による図書館協議会調査概要
3. 文部科学省による図書館協議会調査
4. 図書館協議会活動の活性化：町田市立図書館協議会の事例
5. 今後の課題

#### はじめに

図書館協議会とは、図書館法第14条～第16条にその設置と委員の任命、機能について規定され、公立図書館に条例によって設置される機関である。同法ではその機能について「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関」と規定され、委員は図書館サービスに利用者の立場から意見を述べる事が可能であり、公立図書館の民主的運営を担保する機関である。設置について同法は「図書館協議会を置くことができる」とのみ示し、任意設置である。公開されている直近の社会教育調査（平成23年度、2013年3月29日公表）では、全国3,274館（都道府県立・市区町村立すべて）中、図書館協議会を設置しているのは2,049箇所であり設置率は約63%である。しかし、この統計調査で扱われたのは図書館協議会の設置の数値のみであり、内情を知る事がなかった。また、1985年には日本図書館協会

による図書館協議会調査<sup>1)</sup>が行われ、その結果が『図書館協議会の設置と活動 調査報告書』として刊行された。詳細な調査報告ではあるが、30年前の調査であり、その後の継続調査は行われなかった。2013年には平山陽菜氏がインターネットと紙面調査による図書館協議会調査を行われ、修士論文として報告された<sup>2)</sup>。

本稿では、2016年に実施された図書館友の会全国連絡会の会員による市民の立場からの図書館協議会調査について、その結果を紹介するとともに、前後して行われた文部科学省の調査報告にも触れつつ、図書館協議会の実態と課題を整理報告する。

#### 1. 近年の図書館協議会調査

日本図書館協会主催の全国図書館大会では、第97回多摩大会（2011年10月13日～14日）にて初めて市民主導の第18分科会が開催され、テーマ「住民自治と図書館」のもとで松尾昇治氏により東京多摩地域における図書館協議会の実態について報告がなされた<sup>3)</sup>。

また図書館友の会全国連絡会（図友連と略称）では、「私たちの図書館宣言」（図書館友の会全国連絡：2009.5.25総会決議／2012.5.22総会改訂）<sup>4)</sup>に「六 情報公開と民意に基づく図書館協議会が機能する図書館」と示し、かねてより公立図書館運営に市民が参画する方法として図書館協議会に注目してきた。そこで全国図書館大会第100回東京大会（2014年10月31日～11月1日）

では第24分科会「市民と図書館1」にて「図書館協議会」をテーマに、各地の図書館協議会の様子を報告し、機能する図書館協議会について考えた。筆者は、図友連より図書館大会実行委員として本部会に関与、同時に図友連は会員アンケートの一環として、図書館協議会調査を行った。その成果は第100回大会にて報告されているが、このアンケートでは図書館協議会委員の構成や公募の実態など、不明の点も多かった。そこで全国図書館大会第102回東京大会（2016年10月16日）では第14分科会「市民と図書館」にてテーマ「公立図書館における市民参画のあり方—図書館協議会の現状と未来—」として、再度、図書館協議会を取り上げた<sup>5)</sup>。その狙いは、図書館協議会についての理解をさらに深めるとともに、参加者から全国の状況をパネルディスカッションにて報告し合い、図書館協議会活動を少しでも有意義なものするために認識を共有し、各地の公立図書館を考える市民の活動に資する情報を提供することにあった。そこで、前回より詳細な図書館協議会調査も実施し、筆者は運営委員としてその取りまとめと分析を行った。その成果は、同図書館大会分科会にて基調講演として報告し、「図書館協議会調査概要版【市区町村編】」として資料配布した<sup>6)</sup>。本論では、この調査概要を報告するとともに図書館協議会の現状における課題点を整理し提示することを目的とする<sup>7)</sup>。なお、これに前後して文部科学省も2016年3月に「公立図書館の実態に関する調査研究」<sup>8)</sup>を、さらに2017年3月に「学びを通じた地域づくりの推進に関する調査」<sup>9)</sup>の報告をしており、この中で図書館協議会の調査も行っている。

なお、2017年には大阪府域の図書館協議会の現状について中道厚子氏、藤井兼芳氏の報告も公開された<sup>10)</sup>。本報告を見ると、図友連調査におけるまとめ方（例えば委員構成など項目の立て方など）を参照しているように見受けられ、図友連調査の視点が一定の評価を得ていることになるの

ではないだろうか。

## 2. 図書館友の会全国連絡会による図書館協議会調査概要

今回の調査は、図友連会員の協力により2016年9月～10月にかけて実施された。調査においては市町村立図書館と都道府県立図書館に分け、その結果、総数100件を超える報告を得た。その内訳は、協議会設置事例では市区町村立86件、道府県立5件。協議会未設置事例9件であった。図友連ではより市民に身近な市区町村立図書館の事例を中心に図書館協議会を設置している事例を調査報告し、その後データ修正を経て、調査結果をHPにて公開している。

調査項目は、図書館協議会の構成（委員数、任期、構成、報酬）、活動の諸相（定例会回数、公開性、視察、諮問答申、臨時会など）であり、自由記述の報告も含まれる。特に今回は今までの調査では不明であった協議会の委員構成、委員公募の実態、協議会活動（諮問・視察・外部評価など）にまで調査を加えた点が新しい。また、会員による調査であるため、市民の視点からの調査であることも文部科学省による調査と異なる。

なお、ここで示す数値等は今回の調査範囲内のものであり、必ずしも全国の状況を完全に反映しているわけではない。しかし、概ねの傾向を知る上では有効であると考え提示する。本論末尾の一覧表をご参照いただきたい。

### 2.1 委員構成

①区分：図書館法施行規則第12条には、「学識経験者」「社会教育に関する者」「学校教育に関する者」「家庭教育に関する者」の中から図書館協議会委員に任命することとしており、これが委員任命において参酌すべき基準として示されている。この基準の他に、「公募」「読書ボランティア」「市民代表」「読書団体」など独自の区分を設ける協議会もある。なお委員数は最大15名から最小

で5名であった。なお、委員数は定員として各条例に明示されていても、実際にはその定員内の人数で運用している事例が散見した。これは、任期途中で欠員を補充していないなどの理由が考えられる。

②再任：ほとんどが再任可で上限なし。再任可で10年を上限とする例（宝塚市、）、上限を10年または70才未満という制限事例もあった（茨木市）。

③報酬：今回の調査範囲では、最大13,000円（千葉市）から交通費のみという協議会もあった。また、委員報酬は全員同じ場合と委員長・副委員長に関して若干高めにしている協議会もある（根室市、さいたま市、池田市、宝塚市、那覇市など）。これは、各自治体における非常勤特別職に対する報酬規程によるので図書館協議会のみの報酬で検討するよりそれぞれの自治体事情を勘案しなければならない。なお、報酬に関しては、議員や教員（学校長の事例が多い）が委員を兼務する場合、図書館協議会委員としての報酬は支払われないので、一概に委員の人数と一人当たりの報酬単価から単純に図書館協議会委員報酬の年間予算を推定することはできない。

## 2.2 公募実態

公募方法では、図書館HPや館内のみならず、市広報やHPでも行われる事例があった。選考内容については、論文（800字前後が多い）と書類審査、面接が多く、選考過程（選考委員や基準）が非公開のところが多い。なお、追加調査したところ、選考過程を定め、かつ公開している福生市や静岡市などの事例もあった。

具体的には、福生市では市民公募委員を選考するにあたり「福生市図書館協議会市民公募委員選考委員会」を設置し、選考委員会の委員として「教育次長、庶務課長、生涯学習推進課長、公民館長、図書館長」の5名を示している<sup>11)</sup>。また、静岡市図書館協議会の場合は、「静岡市立図書館協議

会市民委員の選考に関する要綱」<sup>12)</sup>では、第5条にて市民委員の公募における選考委員会（静岡市図書館協議会市民委員選考委員会）の組織を「委員長は教育委員会事務局教育局次長の職にある者を、委員は中央図書館長及び中央図書館副館長の職にある者をもってそれぞれ充てる。」と要綱で定め、選考方法を含め公開している。

公募は一般的に求められる傾向にあり、公募＝民主的な意見の聴取のように考えられているが、その選考過程がブラックボックスでは、恣意的な選考が行われる懸念がある。筆者は公募制に反対はしないが、そのためには、静岡や福生のような透明性も必要であり、委員選任の方法自体が検証され得る状態でなければ、図書館協議会が行政側のアリバイ作りに利用されるとの懸念は払拭されないであろう。

## 2.3 諮問テーマ

館長からの諮問に対して応じることは、図書館協議会の持つ大切な役割である。掲載の一覧には載せてはいないが、会員からの報告事例では、①図書館のあるべき姿の検討（理念と目標など）②図書館サービスにおける意見聴取③指定管理者制度導入の検討、などがあり、図書館側の答申の扱いとしては「参考意見」とする事例が多い。中には「図書館の方針に採用」とする事例もあった。その一方で、近1年以内で「諮問なし」との図書館協議会も多くみられた。

また、図書館評価の外部評価機関として図書館協議会が機能する場合もあり、これも諮問に含めべきであろう。

## 2.4 定例会について

年間開催数は、9回（町田市）から1回までであり、中には不定期の事例もある。会議は公開が多いものの、若干ではあるが非公開の事例もある。議事録は作成されるものの、公開の可否、公開方法、どのくらいの内容を公開するのかの違いがあっ

た。最も公開性がある事例では、議事録を図書館HP・冊子体で公開し、委員の氏名入りで発言がそのまま記されている。なお「記録」として、発言内容を要約して提示する事例、議題のみ提示の事例もあった。

定例会以外の活動は視察、図書館評価活動、意見交換などが報告された。視察は、他自治体の図書館先進事例視察や当該地域の地域館視察も行われている。なお、視察を定例会スケジュールに加えて実施している事例と定例会以外に実施する事例がある。定例会以外で行うと通常の館長報告や各種議論を行う定例会の機会を確保することができる。定例会数が9回の実例（町田市）では視察は定例会以外で行われ、その場合、報酬は支払われない。

## 2.5 その後の追加調査

本調査を取りまとめる過程で、図書館協議会設置の法令の根拠である、各自治体の図書館協議会設置条例についても調査した。その結果、図書館設置条例に含めて図書館協議会を設置する事例と図書館協議会設置条例を図書館設置条例とは別途有する事例があり、さらには図書館法に拠らないいわゆる図書館協議会類似機関（墨田区、福岡市）の三種類が存在し、先の二つはいずれも図書館法を根拠とするので、図書館協議会に認定できるが、最後の事例は図書館協議会ではなく、類似機関として区別して考える必要があるといえる。

## 2.6 調査より見えた課題

ここでは、自由記載による会員の意見を集約して紹介する。因みに調査に参加した会員の中には、図書館協議会委員やその経験者が多かった。よって、図書館協議会の課題点は、実際の図書館協議会活動を通して述べられている点が重要である。

### ①定例会の回数確保の必要性

定例会の回数が少ないと委員のコミュニケーションや図書館に対する認識などが上がりにくい

ことが指摘される。また館長報告でも事後報告が多く、図書館協議会の形骸化につながる指摘もあった。それに対して回数が多いと、図書館側と図書館協議会のやり取りが頻繁に行われる結果、綿密な情報提供や報告、それに対する意見具申が行われ、実際の図書館サービスにつながるの指摘もあった。ある程度の回数確保は不可欠で、定例会以外の活動を含めても年2回や3回では全く足りないといえる。

### ②委員の課題

委員自身の図書館に対する意識の向上、特に利用者としての立場から図書館を捉える視点が必要であり、その部分の弱さを指摘する声が多かった。図書館に関する専門知識を全ての委員が持っているわけではなく、その部分のケアも必要で、具体的には委員の研修機会や視察機会を取り入れることなどが必要である。中には委員向けに小冊子を協議会主導で作成し、図書館関連法規や図書館を考える上での基本的な情報をまとめ、委員に配布した東京都福生市の事例もある。福生市立図書館協議会では、図書館協議会が独自に「福生市図書館協議会委員ハンドブック:2014-2016」を作成し、委員に配布している。図書館に関わる条例・規則、図書館基本計画、答申、図書館関連法令、さらには図書館理念やあり方についての各種宣言類などをまとめた理念などの関連情報を冊子にまとめ、委員の活動に資するものである。図書館協議会の自発的活動として大いに参考にしたいものである。このような冊子を日本図書館協会あたりで作成し普及を望む声もあるが、各図書館の事情に応じて、各地で独自にユニークなハンドブックが作成されることが、地方分権の立場からは望ましい。各図書館協議会でその活動経験から、必要な内容を厳選し、定例会やその他諸活動に資する情報、それを記録して次期の委員に引き継ぐことも念頭に作成されることが望まれる。各地の図書館協議会で必要な情報を独自にまとめて作成すれば、委員自身の意識向上にも資するのではないかな。

### ③議事運営の課題

図書館側の報告事項が多く、実質的な議論が深まらないとの指摘があった。定例会の開催回数が少なければ、当然、定例会1回あたりの報告事項は増える。開催時間の長さの問題もあるが、議事内容の事前提供や関連する情報提供が必要であり、図書館側と委員相互の連携が不可欠である。また、議題によっては、自治体の政策や財政などの知識も必要になる。図書館側には報告のみならず、関連情報の積極的な開示と委員への説明が求められる。委員においては日常から図書館に対する強い関心は不可欠であり、第一に利用者として図書館を使うことから図書館サービスの議論に積極的な関わりが持てるが、当該自治体の文化行政や公共サービスのあり方にまで関心を広げる必要もある。

### ④公開性の課題

定例会の公開、開催日時の広報の仕方、議事録公開など、図書館協議会活動の市民向け広報も課題である。定例会が公開されているのに、そのことが日程を含め広報されていない事例があった。定例会開催情報が示されなければ、そもそも傍聴は不可能である。定例会を公開している図書館協議会では、図書館内はもとより、HPや市広報などで広く情報提供されるべきである。議事録も積極的な情報公開が望まれるべきで、そうしなければ図書館協議会を設置した意味が失われる。なお、傍聴資料の配布に関する項目では、傍聴者への会議資料の「配布」は、無償配布を意味し、「貸与」の場合は、会議後回収、若しくはコピー複写で提供（実際にはコピー代を徴収）などがある。情報公開の観点から、無償提供が望まれる。

## 3. 文部科学省による図書館協議会調査

### 3.1 平成27年度文部科学省委託調査「公立図書館の実態に関する調査研究」報告書

本調査報告は、文部科学省が株式会社図書館流通センターに委託して行った調査報告であり、

2016年3月に公開された。調査の目的は、生涯学習の視点から全国の公立図書館の実態を明らかにするものである。またその調査内容については、「公立図書館の望ましい基準」を目安にしている。

本調査報告の「2. アンケート調査の結果概要」<sup>13)</sup>には図書館協議会について以下のようにまとめている。

#### (図書館協議会)

Ⅱ-4では、図書館協議会の設置状況についてまとめている。図書館法に基づく図書館協議会を設置しているのは回答館中約64%であり、それに類似する協議会を設置していたのは約7%であった。傾向として、直営館ほど図書館協議会の設置の割合が高まり（約70%）、一部委託館及び指定管理館ではその割合が低くなった（約53%）。直営館の多い市町村ほど図書館協議会の比率が高まった（約76%）。なお、類似協議会の設置に留まる理由、あるいは協議会未設置の理由は、図書館について住民から意見聴取する代替的な手段を持っていると地方公共団体または図書館が考えているためであることが多い。

また、図書館協議会は中央館に一つ、正確には各地方公共団体に一つ設置されるケースがほとんどである。「複数館に一つ設置」という回答は約77%を占めたが、約18%となる「一館につき一つ設置」という回答においては町村図書館が多くを占め、それらは分館を持たないと推測されるからである。図書館協議会の運営実態だが、平均して10人の委員によって、年間2回～3回開催されることが多い。うち公募委員が0名であることはほぼ5割、1～2名であることが約3割である。実施にあたって、委員一人当たり約5,100円～3,700円の費用が必要となる。なお、約4割の協議会はその内容を公開していない。

以上の場合、全国の平均値でデータを示しており、この数値がそのまま各地の図書館協議会の実

態というわけにはいかない。委員の平均人数や定例会の年間開催数は、図友連調査と概ね一致する。しかし、報酬に関しては、各自治体における委員等の報酬に関する規定があり、その中で、図書館協議会も他の各種委員会や審議会と同額の報酬が規定されており、この部分では図書館協議会のみ視点で判断することはできない。また示された平均値は、図友連調査による実態より低い。

さらに同調査の第4章「望ましい基準」に基づいた図書館運営②：図書館協議会の設置<sup>14)</sup>では、16の質問事項を提示している<sup>14)</sup>。各質問事項は、図書館協議会と図書館協議会類似機関に分けて同じ質問をしており、最後のQ45で図書館協議会及び類似機関を設置していない理由を尋ねている。その理由として以下の項目が列挙されている<sup>15)</sup>。

類似協議会が設置されているため 30.2%  
 社会教育委員会、生涯学習審議会等で図書館に関する事項も協議しているため 18.2%  
 条例に定めがないため 0.6%  
 指定管理者制度のため 4.4%  
 人員不足 1.3%  
 複合施設で運営協議会を設置しているため 5.0%  
 利用者アンケート等で利用者ニーズを把握できているため 8.2%  
 その他 11.9%  
 特に理由はない 1.3%  
 無回答 18.9%

類似協議会については、図書館法を根拠法としていない機関であり、条例または要綱によって位置付けられているものである<sup>16)</sup>。また指定管理者制度のため設置していないことの理由は説明されていないが、図書館法第14条では、図書館協議会委員は教育委員会が任命することになっており、図書館の管理運営を全て民間企業やNPOに任せてしまう指定管理者制度の場合、そこに教育

委員会任命の委員が指定管理者の館長から諮問を受けたり、意見具申するのは、制度上そぐわないのであろう。この点については、さらに具体的事例を精査して検討を別途加えたい。社会教育委員会や生涯学習審議会、複合施設の運営協議会があるため設置していない場合、図書館に関する委員が選任されているか、議論を行う十分な時間が保障されているかどうかで、図書館に関する市民意見の反映は低くなる。即ち、定例会の開催時間は2時間が多く、例えば、生涯学習審議会ならばその限られた時間内ですべての生涯学習活動について議論するわけであり、議事録などを閲覧しても図書館に関わる議事は少なくなる傾向がある。利用者アンケートなどによる利用者ニーズの把握は図書館にとって重要な意見聴取方法であるが、図書館協議会の場合は、それをさらに深めた議論や具体的な図書館サービス活動につながる提言にすることが可能である。なにより、図書館法によって位置付けられた組織であることから、その意見には一定の法的な重みがあるともいえよう。なお、「条例がない」「人員不足」は利用として論外であろう。

### 3.2 平成28年度文部科学省委託調査「学びを通じた地域づくりの推進に関する調査」調査報告書

本報告書は、文部科学省が株式会社政策研究所に委託して行われたもので、平成29年3月に公開されている<sup>17)</sup>。報告書の第6章「図書館・博物館等社会教育施設用アンケート調査」において、図書館協議会に関する調査結果が提示されている。因みに本調査は、全国の自治体等の社会教育担当部局及び担当者を対象としている。以下に図書館協議会に関する部分、問10から問13までを抜き出しながら考察する。

「問10 図書館や博物館の運営に対する地域住民の意見の反映方法は何か。」の問いに対して、「図

書館協議会や博物館協議会において委員より意見聴取」という回答が多い。次いで、「地域住民等の利用者にアンケートを実施」「ホームページ等に寄せられる意見を集約」「館内にアンケートボックスを設置し、集まった意見を集約している。」「文化財保護審議会において委員より意見聴取。」「図書館利用者からのリクエスト用紙・利用状況等の統計資料。」「社会教育委員会において委員より意見聴取。」「利用者代表として公募により選任した参考人から意見を聴取。」「図書館利用者懇談会における意見等の集約。」があった。

「問 11 図書館協議会や博物館協議会を置いていることによるメリットはあるか。」では、「図書館協議会や博物館協議会を置いてある図書館・博物館では、ほぼすべての館でメリットがあるという回答であるが、一方、図書館協議会や博物館協議会を置いていないという回答も約 3 割ある。」との結果を得た。

問 12 では具体的メリットを尋ねており、図書館に関するものを示すと、「図書館サービス向上に必要な幅広い専門的な意見を聞けると伴に情報共有、協力体制の構築ができること。また実務者目線による現場の意見をいただけること。」「意見を聴き、公平な運営と提言をいただける。住民の立場からの意見を聞ける。専門的な委員に諸活動の協力要請ができる。」「同じ意見でも、外部からの意見には重みがある。職員が何回同じことを言っても、行政組織のなかでは、なかなか通らないので、誰が見てもおかしいこと、の改善には寄与している。また、各分野の代表者からの意見をいただくことは、多方面から客観的に博物館を見ることができるため、有用である。」「他の地域での取り組みや課題を直に聞くことができる。話題になった出来事であれば、新聞の地域版などでも報じられたり、ホームページで見たりすることができるが、実際に内部でどんな問題が生じたのかなど、内部情報が得られる機会になると思う。」「学校関係、地域社会貢献者などで構成されているた

め、あらゆる観点からの指摘、意見を聞くことができる。」「図書館協議会は「住民の意思の反映」だと捉えているので、協議会での委員さんからの意見等を受け、協議することは住民参加となり、運営に対し住民の理解を深め、連携・協力し、住民サービスとなること。」

問 13 では、図書館協議会の課題、改善点を尋ねており、「図書館協議会の委員の選出が各種団体からになっているが、今後は条例を改正し、市民公募枠を設け、幅広い年齢層から委員を選出し、教育委員会だけでなく、市長へも委員の意見を伝えるような仕組みづくりを行わなければならない。」「図書館利用者の声を十分に反映させること、運営への提言やサービス計画およびサービス結果についての点検・評価をするなど、その果たす役割を明確に示す必要がある。図書館協議会からの答申についてはこれを遵守し、図書館運営に反映させるよう努める必要がある。」「新しい取り組みに対して市民からどんな反応があったか（特に否定的意見があれば参考になる）などをメールや文書で各方面に通知する仕組み（問題を自由に書き込める内部ブログなど）があればよい。」「運営状況について現地視察やパワーポイント等を活用し具体的な説明を行い、意見をいただくようにしている。」「市民」の情報を守るために、完全にオープンな協議会展開ができないことが課題。おおきな視点ではあるが、「市民主体の自治」が一般化する必要がある。当市においては、「パートナーシップのまちづくり」という施策が実践されている。」「委員の高齢化、期間の長期化による意見の偏りを課題として委員の入替えを行い、性別、年齢及び学識の多様化を進めている。」「図書館協議会は年 2 回定期的に開催しているが、会議が形骸化することのないよう、常に住民や時代の要請等を考慮しながら、実効性のある協議内容とすることが必要である。」

とある。本調査における最も注目すべき点は、

この最後の質問ではないだろうか。これは、図書館側（もしくは行政側）から出ている解答であるが、図書館協議会の意見を教育委員や市長へも伝えるような仕組み作りの必要性や図書館協議会からの答申を順守し、図書館運営に反映させるよう努める必要性を指摘している。裏を返せば、それがうまく機能していないことを図書館側が認めているわけであり、図書館協議会の意見が図書館運営に反映しなければ、図書館法の精神を蔑ろにしているともいえよう。

本調査の結果より、図書館側は、図書館協議会を地域住民の図書館に対する意見を聴取する機会として位置付けており、意見聴取の機会として期待しているといえよう。但し、このことが、必ずしも全ての地域住民の意見を反映しているとはいえない。図書館協議会委員の構成や選出方法、人数や定例会の回数、さらに図書館協議会委員の自身の認識にもよるであろう。このことは、図書館協議会の活性化にも関わることで、後述する。

#### 4. 図書館協議会活動の活性化：町田市立図書館協議会の事例

ここで、筆者が委員を務める<sup>18)</sup>町田市立図書館協議会について事例を紹介する。

町田市立図書館協議会は、1985年8月に市民の請願によって設置された。町田市の場合は、「図書館設置条例」とは別に「町田市立図書館協議会条例」（昭和60年6月20日条例第20号）によって位置付けられており、その第1条には図書館法を根拠法とすることが明示されている。

委員は10名で任期は2年であり、再任可である。協議会の定例会は当初年10回であったが、図書館予算の厳しい削減により、2016年第15期より年9回に減少した。

また、町田市立図書館は2009年4月より図書館評価を実施し、その外部評価者を図書館協議会が担うことになった。これにより、図書館協議会委員は、定例会以外でも数回の臨時の会合を持っ

ており、委員の交代があるタイミングで市内の図書館視察と学校図書館視察を定例会以外に行い（第16期は3回に分けて実施）、定例会以外の活動は報酬はない。この定例会以外の活動は委員の自発的活動であり、各種調査事例と比較しても活動的な図書館協議会であろう。

町田市立図書館協議会の特徴は、その定例会の多さであろう。東京多摩地区でも国立市の年7回より2回多く最多である。図友連調査やその他調査においても回数は最も多い。定例会の回数が多いと、①館長報告により図書館の詳細な状況のみならず、議会や定例教育委員会の報告も得られる。②委員同士のコミュニケーションが促進される。③委員自身が、図書館に関して検討する機会が頻繁にあるため、それぞれの立場から積極的な意見を出しやすくなる。といったメリットがある。その一方で、①委員の負担が増える。②事務局側の負担増。などの課題もある。特に委員の負担では、10名の委員の日程調整が難しく、学校からの委員は、公務を優先せざるを得ないなどの課題もある。また情報公開のためとはいえ、議事録の作成・確定などの作業もある。なお、定例会の回数を多くするメリットとして、森下芳則氏は愛知県田原市図書館館長時代の経験から、定例会の回数が多ければ、館長は図書館協議会の対応を業務として重視し、これに真剣に向き合うことが必要となり、量が質を変えることの意味を指摘されているが<sup>19)</sup>、この点は各図書館協議会委員、そして図書館側の関係者も意識すべきである。

ところで、どこの図書館協議会でも委員の意識は高くても、公立図書館に関する専門的知識は、就任当初から必ずしも高いわけではない。では、町田市立図書館協議会の場合、どの様に対処しているのだろうか。

図書館協議会の期の変わり目は、8月である。図書館協議会の最初の例会では、図書館側から関連法や参考資料などが配られるが、それだけで専門的な知識を習得することは難しい。しかも、そ



のタイミングで前年度の図書館評価の外部評価依頼も同時に館長から受けることになる。よって、8月から10月までの間に、前期より継続就任した委員を中心に複数グループに分かれ、新任委員も一緒に外部評価に挑むことになる。すなわち図書館外部評価を行いながら図書館サービスや諸活動について知ることになるのである。この場合、委員同志のコミュニケーションは高まるが、一方では、毎期の委員構成においてある程度図書館事情に精通した委員、または前年の評価経験のある委員が複数名存在する必要がある。

さらに委員の地域の図書館への見識を高める方法として、地域の図書館の視察も重要である。町田市立図書館協議会では、市内の全図書館と一部の学校図書館の視察を期が代わるごとに実施している。先進事例の視察よりも先に図書館協議会活動の対象となる図書館について、出来るだけ早い時期に視察することが必要である。その際、利用者の視点のみならず、バックヤードや職員（正規・非正規を含む）の労働環境にも一定の理解を持つ必要がある。また、公立図書館の支援対象となる学校図書館（小中学校）についても視察を行うことで学校図書館の現状を把握し、現場の声を聴取することで、今後の図書館サービスに対して適切な発言が可能になる。勿論、このような視察のみで地域内の図書館や学校図書館、読書環境を熟知することは不可能であるが、委員の意思が高まれば、各委員が各自の専門や活動の中から図書館サービスに関わる課題や積極的な提案が出てくることが期待できる。例えば町田市立図書館協議会では、第16期にて2017年7月に市内保育園、幼稚園に対する積極的な図書館の支援を求める要望書を提出したが、これは、幼稚園、保育園の現場の声を協議会委員が取り上げ、図書館側とつないだ事例である。さらに保育園や幼稚園、学童保育など子どもが長く過ごす施設での読書環境整備状況についても、図書館協議会として関心を持ち、独自調査を行うことで、地域における子どもたちの読書

環境の改善に役立つであろう<sup>20)</sup>。

委員のコミュニケーションを促進する方法として、図書館協議会自身で委員全員がメールなどで情報交流する仕組みを立ち上げることも効果的である。町田市図書館協議会の場合は、図書館外部評価者として図書館とは独立してかつ会合以外の場で情報共有を図るためにメーリングリストを立ち上げ、運用している。これに、図書館界の情報や地域の生涯学習に関する情報なども載せることで委員間のコミュニケーションの促進に役立っている。なおこのメーリングリストは外部非公開とすることで、図書館外部評価として立場も担保され、図書館サービスの課題や定例会で検討すべき課題なども事前に委員の間で共有できるメリットがある。

## 5. 今後の課題

図友連及び文部科学省の図書館協議会調査を検討して、そこから見える図書館協議会の課題とそれを解決するための一事例として町田市立図書館協議会の活動を紹介した。

最後に課題点を克服するための提案を述べてみたい。

図友連調査は会員によるいわば、利用者、市民の立場からの調査であったが、寄せられた感想の中に、あらためて地域図書館を見直すきっかけになったというものがあった。また、本調査結果を図書館大会分科会で報告したのちに寄せられた感想の中には、他の自治体における図書館協議会活動の一斑が判り、励みになったという趣旨のものもあった。さらに、自らの自治体の図書館が設置している機関が図書館法に拠らない図書館協議会類似機関であったことを初めて認識したという意見もあった。

そこで、まず図書館協議会が個別に活動するだけではなく、横につながるネットワークを形成することの必要性を訴えたい。実際に図書館協議会活動を行う際に、当該図書館の情報だけでなく、

当該自治体の情報、隣接する自治体の情報、全国の情報も不可欠である。全国情報に関しては図友連が情報ネットワークを構築しているが、地域にあっては、市民の図書館を考える団体などが、図書館協議会委員を様々な面から支えている事例もあり、この点は大切である。また、図書館協議会自身が他の図書館協議会と連携し、情報や運営など様々な点で協力し支え合う仕組みも必要である。図友連がネット環境を使った全国的な活動を展開して12年になる。図書館協議会においても、そのような連携を模索すべきことが求められる。

ついで、図書館協議会未設置自治体の問題も残されている。図友連調査の過程で未設置図書館とそれに向けての市民の取り組みについても報告があった。市民から図書館法に基づく図書館協議会の設置を求めることは、利用者たる市民がより積極的に図書館運営やサービスに関心を持ち、参画したいとの気持ちの表れであり、その要望は是非、聞き入れられるべきである。先の文科省調査報告<sup>21)</sup>でも、図書館協議会を住民の意見を反映する機関として捉える行政側の考えが表れていた。図書館法が図書館協議会の法制上「必置」としていないところは、地方自治・住民自治の観点から市民の要望による設置を想定しているからではないか。それを要望する市民に対して、図書館協議会を設置しても形骸化するから設置しないとの行政当局からの返答もあったというが、それは形骸化するような仕組みや運営に問題があるのであり、市民の要望があれば、住民自治の精神が大いに発揮されているのであるから、それに沿う対応を行政側、図書館側は求められる。

最後に、図書館協議会委員を支える市民の図書館を考える団体の存在も大切である<sup>22)</sup>。図書館協議会と市民を結ぶ接点には、図書館友の会など市民団体が介在し、委員への情報提供や市民への広報に大きな役割は果たしている。またその様な団体から委員が選出されると、その委員を中心により市民主体の図書館協議会運営がなされる傾向

も確認できることも特記しておきたい。

- 1) 日本図書館協会『図書館協議会の設置と活動：調査報告書』日本図書館協会、1985、p. 88
- 2) 平山陽菜「日本の図書館協議会に関する総合的研究」筑波大学修士（図書館情報学）学位論文、2013
- 3) 松尾昇治「多摩地域における図書館協議会」日本図書館協会全国図書館大会、2011. 10
- 4) 図書館友の会全国連絡会のホームページ (<http://totomoren.net/aboutus.html#sengen> 2017. 09. 15 現在) を参照。PDF 版と HTML 版が提供され、解説の参考資料も閲覧できる。参考資料 URL (<http://totomoren.net/siryo/sengen-kaisetu201205re.pdf> 2017. 09. 15 現在)。
- 5) 内容は、基調報告に山口洋「図書館協議会の現状と課題（論点整理）」の他、パネルディスカッション「公立図書館における市民参画のあり方」として松岡要氏「図書館協議会の制度的位置づけ」（元日本図書館協会事務局長）、森下芳則氏「田原市図書館協議会の活動から」（元愛知県田原市図書館館長）、阿曾千代子氏「図書館協議会の未来を求めて—図書館友の会活動から見えてきたこと—」（図書館ともだち・鎌倉会員）による報告と会場全体とのパネルディスカッションを行った。
- 6) 「図書館協議会調査概要版【市区町村編】」の最新版は「20170331 版」で、図書館大会配布時の資料に対していくつかの修正増補箇所がある。本表は、図書館友の会全国連絡会ホームページより PDF ファイルにて閲覧できる。なお、図書館友の会全国連絡会の許可のもと本稿末尾にその全文を掲載した。URL (<http://totomoren.net/katudo.html#council-city>) 2017. 09. 15 現在
- 7) 本論は、注 5 の第 102 回図書館大会での筆者の基調報告をもとに、さらに詳細に分析したものである。
- 8) 文部科学省 平成 27 年度「生涯学習施策に関する調査研究」：「公立図書館の実態に関する調査研究」報告書（平成 27 年度文部科学省委託調査、受託先株式会社図書館流通センター、平成 29 年 3 月）URL ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/chousa/\\_icsFiles/afiedfile/2016/09/26/1377547\\_04.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/chousa/_icsFiles/afiedfile/2016/09/26/1377547_04.pdf)) 2017. 09. 15 現在

なお、本調査については、高野淳「『公立図書館の実態に関する調査研究』の図書館協議会について

- の疑問』『みんなの図書館』481, pp. 41-43, 2017. 5  
にてその調査のあり方を含めて疑義述べており参考になる。
- 9) 文部科学省「『学びを通じた地域づくりの推進に関する調査』調査報告書」(平成 28 年度文部科学省委託調査) URL ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/chousa/\\_\\_\\_icsFiles/afieldfile/2017/06/12/1386694\\_002.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/chousa/___icsFiles/afieldfile/2017/06/12/1386694_002.pdf)) 2017. 09. 15 現在
- 10) 中道厚子, 藤井兼芳「『図書館協議会』の活動実態把握：(大阪府域)と活性化に向けた検討」『大阪大谷大学紀要』, 51, pp. 27-36, 2017-25
- 11) 「福生市図書館協議会議事録」(平成 24 年第 7 回定例会, 平成 24 年 7 月 27 日開催)
- 12) 「静岡市図書館協議会市民委員の選考に関する要綱」(平成 24 年 4 月 1 日施行)。因みに同市では「静岡市子ども読書活動推進会議市民委員の選考に関する要綱」もあり、公募の市民委員の選考においては同要綱第 4 条にて「委員長には、教育委員会事務局教育局次長の職にある者を、委員には、教育委員会事務局教育局学校教育課長及び中央図書館長の職にある者をもってそれぞれ充てる。」と要綱で定め公開している。
- 13) 注 6 報告書 p. 6 掲載
- 14) 注 6 報告書 pp. 48-67。因みに質問事項を列举すると、Q30 図書館協議会等の設置の有無(類似協議会を含む)、Q31 図書館協議会の設置形態、Q32 図書館協議会の委員総数と公募数、Q33 開催回数、Q34 委員報酬総額(平成 26 年度)、Q35 図書館協議会の公開方法、Q36 図書館協議会意見が図書館運営の改善につながった事例、Q37 図書館協議会設置条例と委員名簿の提供依頼、Q38 類似協議会の設置形態、Q39 類似協議会の委員総数と公募数、Q40 開催回数、Q41 委員報酬総額(平成 26 年度)、Q42 図書館協議会の公開方法、Q43 図書館協議会意見が図書館運営の改善につながった事例、Q44 図書館協議会設置条例と委員名簿の提供依頼、Q45 図書館法上の図書館協議会を設置していない理由、Q46 図書館協議会等(含む類似協議会)を設置していない理由、となる。これを見ても分かるように、図書館協議会と図書館協議会類似機関に分けて同じ質問をしており、最後の Q45 で図書館協議会及び類似機関を設置していない理由を尋ねている。
- 15) 注 6 報告書 p. 50 参照
- 16) 条例設置の事例としては「福岡市総合図書館設置条例」(平成 8 年 3 月 28 日条例第 30 号, 平成 28 年 6 月 4 日施行) 第 25 条では「総合図書館運営審議会」が規定される。要綱設置の事例は、「墨田区図書館運営協議会要綱」(平成 25 年 5 月 2 日墨教あ図第 23 号, 平成 25 年 3 月 29 日施行)による「墨田区図書館運営協議会」がある。いずれも、図書館法に基づかない類似協議会である。
- 17) 注 6 報告書
- 18) 第 13 期(2009. 8)より委員、第 15 期(2013. 8)より委員長で現在に至る。
- 19) 森下芳則「田原市図書館協議会の活動から」(第 102 回図書館大会第 14 分科会報告にて。本分科会記録は『第 102 回全国図書館大会東京大会記録』2017. 3 刊に所収。)
- 20) 刊行した事例としては、町田市立図書館協議会著『子どもたちに豊かな読書環境を：町田市における読書環境の向上を目指して【提言】』(町田市立図書館, 2003)。これは第 9 期町田市立図書館協議会が行ったもので、調査結果を町田市立図書館から 23 頁の冊子として刊行した。市内の図書館で地域資料として収蔵し、貸出も可能である。
- 21) 注 9 報告書 p. 136 参照
- 22) 静岡市の事例として、草谷桂子「図書館はだれのもの? : 県立図書館協議会委員の体験から」(特集 がんばれ! 都道府県立図書館)『図書館雑誌』108 (6), pp. 416-417, 2014. 6

図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版)

| 通番 | 都道府県 | 市町村   | ①委員に関する情報 |    |               | ②公募に関する情報                 |      |     | ③定例会に関する情報 |      |    |                | ④その他の活動 |                   |       |     |       |
|----|------|-------|-----------|----|---------------|---------------------------|------|-----|------------|------|----|----------------|---------|-------------------|-------|-----|-------|
|    |      |       | 委員数       | 任期 | 再任可否          | 委員区分                      | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法     | 開催回数 | 公開 | 定例会開催広報        | 傍聴資料配布  | 報酬額(1日)           | 会議録公開 | 臨時会 | 図書館視察 |
| 1  | 北海道  | 根室市   | 10        | 2年 | 再任可           | 学識3・社教4・学教3               | ×    | －   | －          | 2    | ×  | 広報なし           | －       | 3250<br>(長3500)   | ○     | ×   | ×     |
| 2  | 北海道  | 登別市   | 5         | 2年 | 再任可           | 学識1・社教1・学教1・家教1・公募1       | ○    | 1   | 広報、新聞      | 2    | ○  | 広報・HP・館内掲示・新聞  | 無       | 5500              | ○     | ×   |       |
| 3  | 宮城県  | 仙台市   | 12        | 2年 | 再任可           | 区分不定                      | ×    | －   | －          | 4    | ○  | 図書館HP          | 配布      | 11600             | ○     | ×   | ○     |
| 4  | 福島県  | 福島市   | 10        | 2年 | 再任可           | 学識3・社教3・学教3・家教1           | ×    | －   | －          | 3    | ○  | 広報なし           | 無       | 8000              | ○     | ×   | ○     |
| 5  | 福島県  | 南相馬市  | 10        | 2年 | 再任可           | 学識6・学教2・他2                | ×    | －   | －          | 3    |    |                |         | 6500              | ○     | ×   | ○     |
| 6  | 茨城県  | 水戸市   | 15        | 2年 | 再任可           | 学識5・社教6・学教1・家教1・他(市議)2    | ×    | －   | －          | 3    | ○  | 市役所HP          | 配布      | 6000              | ○     | ×   |       |
| 7  | 茨城県  | 守谷市   | 10        | 3年 | 再任可           | 学識2・社教5・学教1・家教1・公募1       | ○    | 1   | 広報         | 3    | ○  | 図書館HP          | 無       | 6886              | ○     | ○   | ○     |
| 8  | 埼玉県  | さいたま市 | 15        | 2年 | 再任可           | 学 社教/学教 家教 公募3            | ○    | 3   | 広報         | 3    | ○  | 市HP・           |         | 10000<br>(長12000) |       |     |       |
| 9  | 千葉県  | 千葉市   | 10        | 2年 | 再任可           | 学識3・社教3(公募1)・学教2・家教2(公募1) | ○    | 2   | 広報、市HP     | 2～3  | ○  | 図書館HP          | 配布      | 13000             | ○     | ○   | ○     |
| 10 | 東京都  | 墨田区   | 10        | 2年 | 再任可<br>(2期)   | 学識2・学教2・図書館ボランティア2・公募2    | ○    | 2   | 図書館HP      | 3    | ○  | 図書館HP          | 配布      | ?                 | ○     | ○   |       |
| 11 | 東京都  | 福生市   | 10        | 2年 | 再任可           | 学識2・社教/学教3・家教3・公募2        | ○    | 2   | 広報         | 6    | ○  | なし             | ?       | 8500              | ○     | ○   | ○     |
| 12 | 東京都  | 町田市   | 10        | 2年 | 再任可           | 学識2・社教5・学教2・家教1           | ×    | －   | －          | 9    | ○  | 市HP            | 貸与      | 10000             | ○     | ○   | ○     |
| 13 | 東京都  | 国立市   | 10        | 2年 | 再任可<br>(3期目安) | 学識4・社教4・学教1・家教1           | ×    | －   | －          | 6～8  | ○  | 図書館HP・市HP      | 配布      | 9100              | ○     | ○   | ○     |
| 14 | 東京都  | 西東京市  | 10        | 2年 | 再任可           | 学識3・社教4・学教2・家教1           | ○    | 2   | 広報         | 4    | ○  | 図書館HP、市広報      | 貸与      | 10800             | ○     | ○   | ○     |
| 15 | 東京都  | 多摩市   | 7         | 2年 | 再任可           | 学識2・社教1・学教2・家教1・他1        | ○    | 1   |            | 4    | ○  | 図書館HP・館内掲示     | 貸与      | 8700              | ○     | ○   | ○     |
| 16 | 神奈川県 | 相模原市  | 10        | 2年 | 再任可           | 学識2・社教2・学教2・家教2・公募2       | ○    | 2   | 図書館HP、市HP  | 3    | ○  | 図書館HP・館内掲示・市広報 | 無       | 12600             | ○     | ×   | ×     |

| 図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版) |      |     |           |    |      |                        |      |     |            |      |    |         |        |             |     |       |     |    |         |
|--|------|-----|-----------|----|------|------------------------|------|-----|------------|------|----|---------|--------|-------------|-----|-------|-----|----|---------|
| 通番                                     | 都道府県 | 市町村 | ①委員に関する情報 |    |      | ②公募に関する情報              |      |     | ③定例会に関する情報 |      |    |         | ④その他活動 |             |     |       |     |    |         |
|  |      |     | 委員数       | 任期 | 再任可否 | 委員区分                   | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法     | 開催回数 | 公開 | 定例会開催広報 | 傍聴資料配布 | 報酬額(1日)     | 会議録 | 議事録公開 | 臨時会 | 視察 | 図書館評価活動 |
| 17                                     | 神奈川県 | 鎌倉市 | 5         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教1・学教1・家教1・公募3    | ○    | 1   | 広報・図書館HP   | 4    | ○  | 図書館HP   | 配布     | 10000       | ○   | ○     | ×   | ○  |         |
| 18                                     | 神奈川県 | 逗子市 | 5         | 2年 | 再任可  | 学識2・社教1・学教2・他1         | ×    | -   | -          | 3    | ○  | なし      | 配布     | 11500       | ○   | ○     | ×   | ○  |         |
| 19                                     | 富山県  | 富山市 | 12        | 2年 | 再任可  | 学識3・社教1・学教2・家教3・他3     | ○    | 2   | 館内掲示・図書館HP | 1    | ○  | 館内掲示    | 配付     | 9000        | ○   | ×     | ×   | ×  |         |
| 20                                     | 富山県  | 高岡市 | 9         | 2年 | 再任可  | 学識3・社教2・学教2・家教2        | ×    | -   | -          | 1    | ×  | 広報なし    | -      | 5000        | ○   | ○     | ×   |    |         |
| 21                                     | 富山県  | 魚津市 | 10        | 2年 | 再任可  | 学識3・社教2・学教3・家教2        | ×    | -   | -          | 2    | ×  | 広報なし    | -      | 6000        | ○   | ×     | ×   |    |         |
| 22                                     | 富山県  | 氷見市 | 11        | 2年 | 再任可  | 学識2・学教4・家教1・他4         | ×    | -   | -          | 1    | ×  |         | -      | 5000        | ×   | ×     |     | ○  |         |
| 23                                     | 富山県  | 滑川市 | 8         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教3・学教2・家教2        | ×    | -   | -          | 2    | ×  |         | -      | 5000        | ○   | ×     | ×   | ○  |         |
| 24                                     | 富山県  | 黒部市 | 10        | 2年 | 再任可  | 学識1・社教3・学教2・家教1・他3     | ×    | -   | -          | 3    | ×  | 館内掲示    | -      | 4000        | ○   | ×     | ×   | ○  |         |
| 25                                     | 富山県  | 砺波市 | 5         | 2年 | 再任可  | 学識2・社教1・学教2            | ×    | -   | -          | 2    | ×  | 館内掲示    | -      | なし          | ○   | ×     |     |    | ○       |
| 26                                     | 富山県  | 南砺市 | 12        | 2年 | 再任可  | 社教4・学教4・他4             | ○    | 3   | 広報・市HP     | 3    | ○  | 図書館と市HP | 配付     | 5000        | ○   | ○     | ×   | ×  |         |
| 27                                     | 富山県  | 射水市 | 10        | 2年 | 再任可  | 学識3・社教4・学教2・家教1        | ○    | 1   | 広報・市HP     | 1    | ○  | 館内掲示    | 配付     | 3000        | ○   | ○     | ×   | ×  |         |
| 28                                     | 富山県  | 舟橋村 | 7         | 2年 | 再任可  | 学識3・社教2学教2             | ×    | -   | -          | 2    | ×  |         | -      | 4000        | ○   | ×     |     |    |         |
| 29                                     | 富山県  | 朝日町 | 8         | 2年 | 再任可  | 2016年3月設置活動は今後のため不明    | ×    | -   | -          | ?    | ?  |         |        | 2500        |     |       |     |    |         |
| 30                                     | 長野県  | 原村  | 5         | 2年 | 否    | 学識2(内村議1)・学教2・社教1      | ×    | -   | -          | 2    | ×  |         | -      | 5700(長6000) | ○   | ○     |     | ○  |         |
| 31                                     | 岐阜県  | 岐阜市 | 11        | 2年 | ?    | 学識4・社教1・学教2・家教1・公募2・他1 | ○    | 2   | 広報         | 3    | ○  | 図書館HP   | 配布     | 9000        | ○   | ○     | ×   |    |         |
| 32                                     | 岐阜県  | 大垣市 | 7         | 2年 | 再任可  | 学識1・学教/社教2・家教3・公募1     | ○    | 1   |            | 3    | ○  | 市広報     | 配布     | 7800        | ○   | ○     |     |    |         |

| 図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版) |      |      |           |                        |      |                     |      |     |            |            |      |                |        |                  |     |       |     |    |        |
|--|------|------|-----------|------------------------|------|---------------------|------|-----|------------|------------|------|----------------|--------|------------------|-----|-------|-----|----|--------|
| 通番                                     | 都道府県 | 市町村  | ①委員に関する情報 |                        |      | ②公募に関する情報           |      |     |            | ③定例会に関する情報 |      |                |        | ④その他活動           |     |       |     |    |        |
|  |      |      | 委員数       | 任期                     | 再任可否 | 委員区分                | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法     | 開催回数       | 公開   | 定例会開催広報        | 傍聴資料配布 | 報酬額(1日)          | 会議録 | 議事録公開 | 臨時会 | 視察 | 国際評価活動 |
| 33                                     | 岐阜県  | 関市   | 10        | 2年                     | 再任可  | ?                   | ×    | -   | 2~3        | ×          | 広報なし | -              | 6500   | ○                | ×   | ×     | ×   |    |        |
| 34                                     | 静岡県  | 静岡市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識2・社教2・学教2・家教2・公募2 | ○    | 2   | 広報・図書館HP   | 3          | ○    | 図書館HP          | 無      | 11000            | ○   | ×     | ○   |    |        |
| 35                                     | 愛知県  | 岡崎市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識2・社教2・学教/家教4・公募2  | ○    | 2   | 図書館HP      | 2          | ○    | 図書館HP          | 無      | 7500             | ○   | ○     | ○   |    |        |
| 36                                     | 愛知県  | 豊田市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識2・学教3・他5・公募2      | ○    | 2   |            | 3~4        | ○    | 図書館HP          | 貸与     | ?                | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 37                                     | 愛知県  | 小牧市  | 13        | 2年                     | 再任可  | 学識2・社教2・学教2・家教2・公募3 | ○    | 3   | 市HP        | 2          | ○    | 図書館HP          | 配布     | 7700             | ○   | ○     | ○   |    |        |
| 38                                     | 愛知県  | 日進市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教2・学教2・家教1・公募2 | ○    | 2   |            | 3          | ○    | HP・市広報         |        | 8000             | ○   | ○     | ○   |    |        |
| 39                                     | 京都府  | 綾部市  | 12        | 2年                     | 再任可  | 学識6・社教2・学教2・家教2     | ×    | -   | -          | ?          | ×    |                | -      | 5000             | ○   | ×     | ○   |    |        |
| 40                                     | 大阪府  | 堺市   | 9         | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教3・学教2・家教1     | ○    | 1   | 広報・図書館     | 3          | ○    | 市広報            | 配布     | 10200            | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 41                                     | 大阪府  | 豊中市  | 9         | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教1・学教3・家教1・公募1 | ○    | 1   | 広報         | 3          | ○    | 市広報誌           | 貸与     | 9700             | ○   | ○     | ×   |    | ○      |
| 42                                     | 大阪府  | 池田市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教2・学教1・家教1・公募3 | ○    | 3   | 市広報・図書館HP  | 3~4        | ○    | 図書館HP          | 貸与     | 8200<br>(長 9400) | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 43                                     | 大阪府  | 吹田市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教2・学教2・家教1・公募2 | ○    | 2   | 広報・市HP     | 3          | ○    | 図書館HP          | 配布     | 8400             | ○   | ○     | ○   |    |        |
| 44                                     | 大阪府  | 高槻市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識2・社教3・学教2・家教1・他2  | ×    | -   | -          | 2          | ○    | 図書館HP・市広報      | 配布     | 9000             | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 45                                     | 大阪府  | 茨木市  | 8         | 2年<br>(上級10年<br>70才未満) | 再任可  | 学識3・社教2・学教2・家教1     | ×    | -   | -          | 2~3        | ○    | 図書館HP・館内掲示     |        | 9000             | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 46                                     | 大阪府  | 富田林市 | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識3・社教3・学教2・家教2     | ×    | -   | -          | 2          | ○    | 市HP・図書館HP・館内掲示 | 無      | 7000             | ○   | ○     | ×   |    |        |
| 47                                     | 大阪府  | 松原市  | 9         | 2年                     | 再任可  | 学識2・社教2・学教3・家教2     | ×    | -   | -          | 2          | ○    | 図書館HP          | 無      | 7500             | ○   | ○     | ○   |    |        |
| 48                                     | 大阪府  | 箕面市  | 10        | 2年                     | 再任可  | 学識3・学教1・社教2・家教2・公募2 | ○    | 2   | 市民委員公募登録制度 | 3~4        | ○    | 市HP、図書館HP      | 配布     | 7400             | ○   | ○     | ×   |    | ○      |

| 図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版) |      |      |           |    |                |                         |      |     |                |            |    |                |        |                          |       |     |    |         |
|--|------|------|-----------|----|----------------|-------------------------|------|-----|----------------|------------|----|----------------|--------|--------------------------|-------|-----|----|---------|
| 通番                                     | 都道府県 | 市町村  | ①委員に関する情報 |    |                | ②公募に関する情報               |      |     |                | ③定例会に関する情報 |    |                |        | ④その他活動                   |       |     |    |         |
|  |      |      | 委員数       | 任期 | 再任可否           | 委員区分                    | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法         | 開催回数       | 公開 | 定例会開催広報        | 傍聴資料配布 | 報酬額(1日)                  | 会議録公開 | 臨時会 | 視察 | 図書館評価活動 |
| 49                                     | 大阪府  | 羽曳野市 | 10        | 2年 | 再任可            | 学識4・社教4・学教2             | ×    | -   | -              | 2          | ○  | 市広報            |        | 7000                     | ○     | ○   | ×  | ○       |
| 50                                     | 大阪府  | 阪南市  | 11        | 2年 | 再任可            | 学識4・社教2・学教3・公募2         | ○    | 2   | 広報             | 2          | ○  | 市広報            | 配布     | 6500                     | ○     | ○   | ×  |         |
| 51                                     | 大阪府  | 熊取町  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識3・社教2・学教2・家教1・公募2     | ○    | 2   | 図書館・全公共施設・HP   | 3          | ○  | 図書館HP          |        | 7465                     | ○     | ○   | ×  | ○       |
| 52                                     | 兵庫県  | 神戸市  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識3・社教/家教3・学教2・市民代表2    | ○    | 2   | 神戸市ネットモーターから募る | 3          | ○  | 図書館HP・館内掲示・市HP | 配布     | およそ9000                  | ○     | ○   | ×  | ×       |
| 53                                     | 兵庫県  | 篠山市  | 7         | 2年 | 再任可            | 学識2・社教2・学教2・公募1         | ○    | 1   | 広報、HP          | 2          | ○  |                |        | 3860                     | ○     | ×   | ×  | ×       |
| 54                                     | 兵庫県  | 宝塚市  | 9         | 2年 | 再任可<br>(上限10年) | 学識1・社教1・学教3・家教1・他4(公募1) | ○    | 1   |                | 3          | ○  | 市HP・館内掲示       | 無      | 8600(長11400)<br>(学10600) | ○     | ○   |    | ○       |
| 55                                     | 兵庫県  | 三木市  | 9         | 2年 | 再任可            | 学教3・他1・公募3              | ○    | 3   | 広報             | 2～3        | ○  | 館内掲示           |        | 4000                     | ○     | ×   | ×  | ×       |
| 56                                     | 兵庫県  | 川西市  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識1・社教3・学教4・家教2(内公募1)   | ○    | 1   | 図書館HP          | 2          | ○  | 図書館HP          |        | 11100                    | ○     | ○   |    |         |
| 57                                     | 鳥取県  | 米子市  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識2・社教2・学教3・家教1・公募2     | ○    | 2   | 広報、市HP         | 2          | ○  | 市HP            |        | 7000                     | ○     | ○   |    |         |
| 58                                     | 鳥取県  | 浜田市  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識3・社教3・学教3・家教1         | ×    | -   | -              | 3          | ○  | 市HP            |        | 6000                     | ○     | ○   | ×  | ×       |
| 59                                     | 岡山県  | 瀬戸内市 | 9         | 2年 | 再任可            | 学識1・社教1・学教3・家教1・他3      | ×    | -   | -              | 2～3        | ×  | 広報なし           | -      | 6000                     | ○     | ×   | ○  | ○       |
| 60                                     | 広島県  | 広島市  | 9         | 2年 | 再任可            | 学識3・社教2・学教2・家教2(公募1)    | ○    | 1   | 市HPなど          | 4          | ○  | 市HP            | 配布     | 11000                    | ○     | ○   | ×  | ×       |
| 61                                     | 広島県  | 竹原市  | 7         | 2年 | 再任可            | 学識1・社教1・学教2・家教3         | ×    | -   | -              | 1          | ×  |                | -      | 7000(長7500、<br>副7100)    | ○     | ×   | ×  | ○       |
| 62                                     | 広島県  | 尾道市  | 11        | 2年 | 再任可            | 学識1・社教2・学教2・家教3・他3      | ×    | -   | -              | 2          | ×  |                | -      | 5000                     | ○     | ×   | ×  | ×       |
| 63                                     | 広島県  | 三次市  | 9         | 2年 | 再任可            | 学識3・社教1・学教2・家教1・他2      | ×    | -   | -              | 2          | ×  |                | -      | ?                        | ○     | ×   | ×  | ×       |
| 64                                     | 広島県  | 東広島市 | 8         | 2年 | 再任可            | 学識2・社教2・学教2・家教2         | ×    | -   | -              | 1          | ×  |                | -      | 9200                     | ○     | ○   | ×  | ×       |

図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版)

| 通番 | 都道府県 | 市町村  | ①委員に関する情報 |    |      | ②公募に関する情報                                  |      |     | ③定例会に関する情報    |      |    |             | ④その他の活動 |                      |     |       |     |       |         |
|----|------|------|-----------|----|------|--|------|-----|---------------|------|----|-------------|---------|----------------------|-----|-------|-----|-------|---------|
|    |      |      | 委員数       | 任期 | 再任可否 | 委員区分                                       | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法        | 開催回数 | 公開 | 定例会開催広報     | 傍聴資料配布  | 報酬額（1日）              | 会議録 | 議事録公開 | 臨時会 | 図書館視察 | 図書館評価活動 |
| 65 | 広島県  | 廿日市市 | 9         | 2年 | 再任可  | 学識3・社教4・学教2                                | ×    | －   | －             | 2    | ×  | 広報なし        | －       | 7000                 | ○   | ×     | ×   | ×     |         |
| 66 | 広島県  | 北広島町 | 8         | 3年 | 再任可  | ？  | ×    | －   | －             | 1    | ×  |             | －       | ？                    | ○   | ×     | ×   | ×     |         |
| 67 | 山口県  | 光市   | 8         | 2年 | 再任可  | 学識3・社教1・学教2・家教1・公募1                        | ○    | 1   | 広報、図書館HP      | 2    | ○  | 図書館HP       | 配布      | 6810                 | ○   | ○     | ×   | ×     |         |
| 68 | 香川県  | 高松市  | 12        | 2年 | 再任可  | 学識7・社教1・学教1・家教1・公募2                        | ○    | 2   | 図書館HP、市HP、市広報 | 2    | ○  | 市HP         | 配布      | 6500                 | ○   | ○     | ×   | ×     |         |
| 69 | 香川県  | 丸亀市  | 8         | 2年 | 再任可  | 学識1・学教3・家教1・読書ボランティア2                      | ○    | 1   | 広報、市HP        | 1    | ○  | 市HP         | 配布      | 7000                 | ○   | ○     | ×   | ×     |         |
| 70 | 福岡県  | 北九州市 | 16        | 2年 | 再任可  | 学識4・社教3・学教6・家教3                            | ○    | 2   | 市HP           | 4    | ○  | 図書館HP       | 配付      | 10500                | ○   | ○     | ○   | ○     |         |
| 71 | 福岡県  | 福岡市  | 15        | 2年 | 再任可  | 学識4・社教3・学教3・家教1・公募2・読書団体2                  | ○    | 2   | 図書館、市         | 2    | ○  | 図書館HP       | 配付      | 11000                | ○   | ○     | ×   | ○     |         |
| 72 | 福岡県  | 柳川市  | 10        | 2年 | 再任可  | 学識1・社教3・学教3・他3                             | ×    | －   | －             | 2    | ×  |             | －       | 4000                 | ○   | ×     | ×   | ×     |         |
| 73 | 福岡県  | 宮若市  | 8         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教2・学教2・家教2・公募1                        | ○    | 1   | 広報            | 1    | ×  |             | －       | 4500                 | ×   | ×     | ×   | ×     |         |
| 74 | 福岡県  | 糸島市  | 10        | 2年 | 再任可  | 学識1・社教／学教3・家教2・公募4                         | ○    | 2   | 広報、市HP        | 2    | ○  | 直接問合せ       | 無       | 4700（長4900）、費用弁償2200 | ○   | ×     | ×   | ○     |         |
| 75 | 福岡県  | 粕屋町  | 9         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教1・学教2・保育1・幼稚園1・図書館ボランティア1・こども館1・区長会1 | ×    | －   | －             | 3    | ○  |             |         | 2500                 |     |       |     | ○     |         |
| 76 | 佐賀県  | 佐賀市  | 10        | 2年 | 再任可  | 学識2・社教2・学教1・公募5                            | ○    | 5   |               | 2～3  | ○  | 市総務法制課情報公開係 | 配布      | 5630                 | ○   | ○     | ×   | ×     |         |
| 77 | 佐賀県  | 伊万里市 | 8         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教2・学教1・家教1・他3                         | ○    | 2   | 図書館、HP        | 2    | ○  |             |         | 5220                 | ○   | ×     | ×   | ×     |         |
| 78 | 長崎県  | 諫早市  | 10        | 2年 | ？    | 学識2・社教4・学教3・家教1                            | ×    | －   | －             | 2    | ×  |             | －       | 6000                 | ○   | ×     | ×   | ×     |         |
| 79 | 長崎県  | 五島市  | 5         | 2年 | 再任可  | 学識1・社教1・学教1・他2                             | ×    | －   | －             | 2    | ×  |             | －       | 5500                 | ○   | ×     | ×   | ○     |         |
| 80 | 長崎県  | 長与町  | 9         | 2年 | 再任可  | 学識2・社教5・学教1・家教1                            | ×    | －   | －             | 2    | ○  | 広報なし        | 配布      | 7000                 | ×   | ×     | ×   | ×     |         |



| 図書館協議会調査概要版【市区町村編】(含類似機関) (20170331 版) |      |      |           |    |                |                            |      |     |            |      |    |         |        |                    |     |       |     |    |         |
|--|------|------|-----------|----|----------------|----------------------------|------|-----|------------|------|----|---------|--------|--------------------|-----|-------|-----|----|---------|
| 通番                                     | 都道府県 | 市町村  | ①委員に関する情報 |    |                | ②公募に関する情報                  |      |     | ③定例会に関する情報 |      |    |         | ④その他活動 |                    |     |       |     |    |         |
|  |      |      | 委員数       | 任期 | 再任可否           | 委員区分                       | 公募有無 | 公募数 | 公募公開方法     | 開催回数 | 公開 | 定例会開催広報 | 傍聴資料配布 | 報酬額(1日)            | 会議録 | 議事録公開 | 臨時会 | 視察 | 図書館評価活動 |
| 81                                     | 大分県  | 大分市  | 10        | 2年 | 再任可            | 学識2・社教3・学教2・家教3            | ○    | 2   | 市広報、HP     | 2～3  | ○  | 図書館HP   | 無      | 7900               | ○   | ×     | ×   | ×  |         |
| 82                                     | 大分県  | 別府市  | 8         | 2年 | 否              | ?                          | ×    | —   | —          | 2    | ×  | 広報なし    | —      | 交通費のみ              | ○   | ×     | ×   | ○  |         |
| 83                                     | 大分県  | 杵築市  | 8         | 2年 | 再任可            | 学識2・社教3・学教2・家教1            | ×    | —   | —          | 2    | ○  | 広報なし    | 無      | 4500               | ×   | ×     | ×   | ○  |         |
| 84                                     | 大分県  | 由布市  | 14        | 2年 | 再任可            | 学識4・社教3・学教4・家教3            | ×    | —   | —          | 2    | ×  |         | —      | ?                  | ×   | ×     | ×   |    |         |
| 85                                     | 鹿児島県 | 鹿児島市 | 9         | 2年 | 再任可            | 学識3・社教2・学教3・家教1            | ×    | —   | —          | 2    | ×  |         | —      | 8000               | ○   | ×     | ×   |    |         |
| 86                                     | 沖縄県  | 那覇市  | 6         | 2年 | 再任可<br>(補欠3期迄) | 学識3・学教1・家教1(文庫活動)・他1(学校司書) | ×    | —   | —          | 2    | ○  | 館内掲示    | ?      | 8000(長)7500(委)+交通費 | ○   | ×     | ×   | ×  |         |
| 87                                     | 沖縄県  | 西原町  | 7         | 2年 | 再任可            | 学識3・社教1・学教1・家教1・他2         | ○    | 1～2 | 町HP        | 2    | ?  | ?       | ?      | 7000               | ○   | ×     | ×   | ○  |         |

※本データは図書館友の会全国連絡会会員による調査です。

この調査の目的は、図友連の活動及び図書館運動を展開する市民のロビー活動資料、学習会資料として活用することにあります。会員以外の方が、学習会などで使用される場合は、図友連 HP より事務局にご連絡ください。

※※凡例と解説※※※

①排列は自治体コード(総務省)順

②区分：学識＝学識経験者、社教＝社会教育、学教＝学校教育、家教＝家庭教育

③「?」＝不明の回答。「空欄」＝未回答。

④報酬額は、会員調査をそのまま転記しているため、費用弁償を含む・含まない、税など記述に幅があります。

⑤報酬に関しては、公務にある者には支給しない自治体もあります。詳細は各自治体の例規集で確認してください。

本データは図書館友の会全国連絡会ホームページで公開されています。(2017.3 末現在)

同会の許可を得て転載しております。

